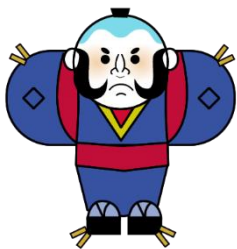


YA 通信

No67 2016年1月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。

New!!



『オードリー・ヘップバーン』

筑摩書房編集部/編 筑摩書房 37/オ/15

女優、オードリー・ヘップバーン—華奢な身体に太く黒い眉毛、映画「ローマの休日」の美しい姿に見覚えがある人もいると思います。

かわいらしくスタイルも抜群のオードリーですが、実は彼女は容姿に強くコンプレックスを抱いていました。幼少の頃からバレリーナを目指していましたが、チョコレートが大好きな少女時代は太っており、歯並びも悪かったといわれています。

私たちも様々なコンプレックスに悩まされることがあります。しかしコンプレックスを冷静に分析し、悲観することなく自ら魅力に変えていったオードリー。元来華やかなスターだと思っていたのですが、彼女の本当の姿と、自分ではだめだと思っている部分も実はその人唯一の価値であることに気づかせてくれる一冊です。



名作たからばこ

『刺青・春琴抄』 たにざき じゅんいちろう 谷崎 潤一郎/著 旺文社 913/オウ/Z 3階児童

この本には表題の「刺青(しせい)」「春琴抄」のほかに、「吉野葛」「蘆刈」が収録されています。どれも谷崎を代表する話ですが、この中でわたしの一番のオススメは「春琴抄」です。

美しい盲目の琴弾「春琴」と、彼女の家に仕えるお供の「佐助」。この二人の生涯が綴られていくわけですが、この二人の関係は基本的に「主従」でありまた「師弟」であるわけです。その関係性を越えたものが生まれるのか生まれないのか、いったい二人はどうなってしまうのか。話は王道ですが、その分万人に受けやすい作品なのではないでしょうか。冬の夜、しっとりとした恋愛話でも読んでみませんか？



伝統

伝統とはなんでしょう。辞書を引くと、古くから受け継がれてきた事柄、また、それらを受け伝えることとあります。つまり伝統といわれるものは、わたしたちが受け取る気がなくなったとき、“伝統”では無くなってしまうということです。後に伝えるかどうかは置いておいて、とりあえず紹介する本を読んで、受け取るだけでもしてみませんか？



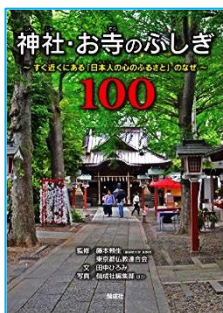
『カブキブ!』 ^{えだ} 榎田 ユウリ/著 角川書店 F/エタ/13-1~15-4

来栖黒悟（クロ）は祖父の影響で歌舞伎が大好きな高校生。歌舞伎を部活でやりたい！と「カブキブ」の設立を目指し、メンバー集めに奔走します。

歌舞伎と聞くと、難しそう、敷居が高そうなイメージがありますが、主人公がイマドキの言葉でわかりやすく解説してくれるので、きっと身近に感じられるはず。

『美しい日本の伝統色』 ^{もりむら} 森村 ^{むねふゆ} 宗冬/著 山川出版社 757.3/ウ/13 4階一般

日本人は昔から自然の中から様々な色を見つけ、それを大切にしてきました。例えば、紅色・胭脂（えんじ）色・菜の花色・藤色・桔梗色・・・数えだせばきりが無い程の色があり、またそれを、その時代のセンスで上手に取り入れていきました。（江戸時代には茶色とネズミ色だけで40種類！以上あったそうです。）この本には、そんな日本の伝統色がたくさん載っています。これからお正月になり、皆さんも神社へ行ったりして日本の伝統に触れる機会が増えると思います。そんな時に色についても目を向けてみてはどうでしょうか。先人たちのセンスが見えてくるかも・・・！



『神社・お寺のふしぎ100』 ^{たなか} 田中 ひろみ/文 ^{ふじもと} 藤本 ^{よりお} 頼生, 東京都仏教連合会/監修 偕成社 17/シ/15 3階児童

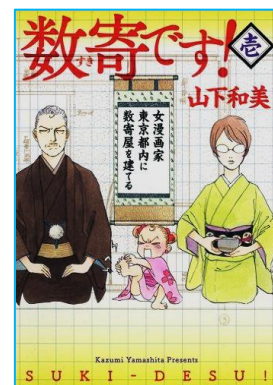
年が明け、初詣や合格祈願に神社に行く人も多いかと思います。他にもお祭りや旅行で訪れたり私たちに身近な神社やお寺ですが、「いろいろなお守りをたくさん持っていてもいいの?」「お坊さんはどうして坊主頭なの?」などなんとなく不思議に思っていることはありませんか? そんな100の疑問を、全ページカラー写真に載せて回答してあります。

日本が誇る貴重な文化財、神社とお寺。その伝統をのぞいてみてください。

『数寄です! 女漫画家東京都内に数寄屋を建てる 1』 ^{やました} 山下 ^{かずみ} 和美/著 集英社 726.1/ス/13-1

「数寄屋造り」というのをご存知ですか? とっても簡単に言うと和風の建築物のことです。この本は、とある漫画家がそんな数寄屋を都内に建てるまでを描いた奮闘記になっていて、伝統を追及するというのは、自分の中の理想を追い求めるということだということが感じられます。自分の中の理想をとことんまで追求できればとても素敵なものが待っている。ただそのためにはとても大変なことも待ち受けている訳で。理想と妥協の間ですったもんだする姿は時に微笑ましく、また時に羨ましく感じるのではないのでしょうか。

もちろんそんなことを考えないよ、という人でもマンガとしてもとても面白い作品になっていますので、ぜひ一度ごらんあれ。



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

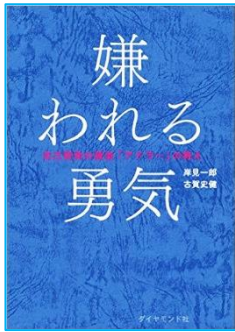
『嫌われる勇氣 一自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見 一郎、古賀 史健/著 ダイヤモンド社 146.1/キ/14 4階一般

人間関係や自分の性格で悩んでいる青年と「アドラー」の研究者による、全編対話形式で展開されています。

様々な悩みは「過去」からのものと考える青年に、「トラウマ」は存在しないとする心理学。青年はなんとか、「アドラー」の考えにほころびを見つけようとするのですが…。

あなたの「不幸」は、あなた自身が「選んだ」もの、と問われて、さあ、あなたはなんと反論しますか。



話のタネに!



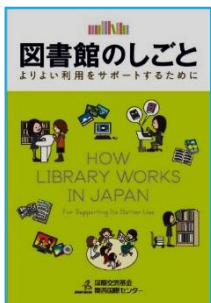
まなぶくくとはたらくBOOKから変更して、今回から新しく、最近のニュースを取り入れたコーナーに変わりました。“ニュースやネットで話題になっているのは知っているけれど、内容は知らない”。そういった話題に図書館の観点から考えた、様々な本を紹介していきます。

よろしくお願いします!!

最近、様々な場で民間会社と提携した図書館のことが盛んに取り上げられています。今回のことを受けて、今まで公的な場として運営されていた図書館の在り方、存在意義が大きく揺らいでいます。“図書館とは誰のためのものか。何のためにあるのか。”今回は、【図書館】についての本を紹介します。

『図書館のしごと』 国際交流基金関西国際センター/編 読書工房 010/ト/13

図書館とは、過去から現在にかけて人々が生み出してきた知的財産を次の世代にむけて伝えていき、またそれらが社会全体で共有できるように、人々に広く提供する場である。(第1章から)この本は、タイトルの通り、図書館の役割や図書館の種類、図書館で行われているサービスについて、分かりやすく解説しています。よく図書館で本を借りるけれど、本を借りる以外でどんなことをしているかは知らない、という人もいます。図書館とはどんなところなのか、是非ページを開いて、知ってみて下さい。



『29歳で図書館長になって』 吉井 潤/著 青弓社 013/ニ/15 4階一般

“想像と創造ができるための図書館を、みんなで協働して作ろう!” 29歳で図書館長になった著者が、これからの図書館はどうあるべきか、ということを考えての中で書いた本です。どんなサービスをしていきたいか、どんな設備が必要か、図書館をどうしていくのか・・・など様々な視点から書かれています。中には、ロボット職員を置きたいなどのちょっと変わった、でも面白そうな案も。ぜひ皆さんも“創造と想像”を働かせながら、本を手にとって下さい。



日本の最も美しい図書館 立野井 一恵/文 エクスナレッジ 010.2/ニ/15 4階一般

図書館、というと地味なイメージが強いですが、四角い建物の中に、本が整然と並んでいて利用者が静かに本を読んだり勉強したり。でも、最近はそんなことないんです。この本では、日本全国にある様々な美しい図書館を紹介しています。歴史的な建築物をそのまま使ったレトロ図書館から、現代的なセンスを取り入れたモダンな図書館まで、筆者が厳選した41の図書館がカラー写真で掲載されています。新しい図書館像に触れてください。

また、本館には“世界の美しい図書館”も所蔵されています。こちらも必見です。





『10代のための座右の銘』

大泉書店編集部/編 大泉書店 15/シ/15

どんな本?

この本は、どんな人になりたいかのキーワードごと章にわかれています。各章では有名人の言葉と一緒に、プロフィールやエピソードなども一緒に紹介されているので、それぞれの言葉が持つ意味や背景を深く理解する手助けとなってくれるでしょう。また、どんな人になりたいのか迷っているあなたには、チャート診断でぴったりの章をオススメしてくれます。

ここがオススメ!

座右の銘とは「いつも自分のそばにあって自分を戒め励ましてくれる言葉」です。あなたは「座右の銘」を持っていますか?もしないのなら、この本であなたにとって特別な、自分だけの「座右の銘」を見つけてみませんか?

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

春日井市図書館

春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp>

ケータイサイトはQRコードから→



職場体験に来た柏原中学校の生徒さんたちにテーマに沿って本を選んでもらいました。そして、その中からそれぞれのオススメの本を一冊紹介してもらいます。今回のテーマは「部活」です。

選んでもらった本のリストは裏面にあります

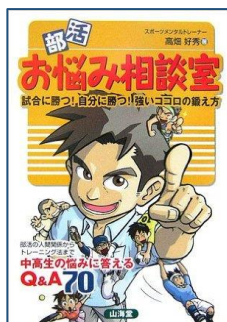
W.A.さんの紹介

この本は、中学生の部活動を成功させるためのヒントが詰まった一冊です。これから中学校に入る六年生の子にも、またその子の両親にもおすすめしたい本です。また、この本を読んで自分に合った部活、部活のためにがんばれる、この部活なら続けられると自分で思える部活に入部してほしいです。入部してから気づく後悔は絶対にしてほしくないのです。この本を読んで、毎日楽しくなるような部活に入部してもらいたいです。



『13歳からの勝つ部活動』

O.N.さんの紹介



『部活お悩み相談室』

部活が辛い、やめたい。そう思う人にこの本をおすすめします。この本はタイトルの通り部活内の人間関係、トレーニングの続け方など、誰もが一度はつまづく問題について、一つの質問に一つの回答という形式で分かりやすく、丁寧に説明されています。実際に中高生からアンケートをとってつくられた本なので、共感する部分も多いと思っています。また文章と一緒に四コマ漫画がのっているので、文章を読むのが苦手でもスラスラ読めます。

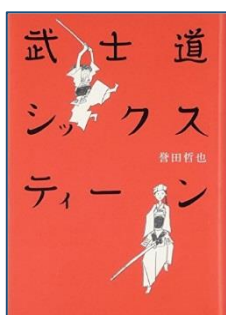
I.S.さんの紹介

この本は、ソフトテニスのルールが詳しく書かれています。素振り練習からサービスまで写真で解説しているので、とても理解しやすいです。また、マナー講座やテニス用語集、テニスウェアの揃え方など、これからソフトテニスを始めたい人にもおすすめです。弾むボールを追いかける楽しさ。思い切って打ち込んだときの打球感。相手のコースを予測して決めたボレー。さあ、みんなもソフトテニスをやってみよう。



『ソフトテニス部』

S.T.さんの紹介



『武士道シックスティーン』

僕が紹介する本「武士道シックスティーン」は、二人の主人公磯山と西萩が中学から高校まで好敵手（ライバル）であり続けた二人の女子の話です。この本は、僕と同じ剣道部の人でもとてもおもしろい話だし、剣道の事を知らない人でも用語の説明や竹刀の部位なども分かりやすく書かれているので、楽しめて読めます。他にも武士道セブentyーンやエイティーンなどのシリーズがたくさんあるので興味があったらぜひ読んでください。

テーマ
『部活』



YAブックリスト

タイトル	著者名	出版社	所蔵場所	所蔵コード
13歳からの勝つ部活動 青春の入り口で汗と涙を流している君に捧ぐ	塚本哲也	黎明書房	ヤング	37/シ/13
部活魂!	岩波書店編集部	岩波書店	ヤング	37/フ/09
スポーツ部活はいま	城丸章夫 水内宏	青木書店	閉架一般	375.1/ス/Y
絶対!盛り上がる 軽音楽部 100のコツ	片桐慶久 他監修	ヤマハミュージックメディア	ヤング	375.1/セ/15
たすきがくれた奇跡 豊川工業高校陸上部物語	荻野滋夫	郷土出版社	4階一般	A376.4/タ/02
部活でもっとステップアップ 吹奏楽 上達のコツ50	畠田貴生	メイツ出版	ヤング	764.6/フ/14
部活お悩み相談室 試合に勝つ!自分に勝つ! 強いココロの鍛え方	高畑好秀	山海堂	ヤング	78/フ/06
クラブ文化が人を育てる 学校・地域を再生するスポーツクラブ論	荒井貞光	大修館書店	3階一般	780.1/ク/03
女子部活食	海老久美子	ベースボールマガジン社	3階一般	780.1/シ/14
ソフトテニス部	ナロさん & おまみ	ベースボールマガジン社	3階一般	783.5/ソ/14
六大学野球部	松尾俊治 他	恒文社	閉架一般	783/48/D
心眼で射止めた金メダル 小林深雪と日立システムスキー部の挑戦	宮崎恵理	新潮社	3階一般	784.3/シ/07
部活で俳句	今井聖	岩波書店	ヤング	911/イワ/12
アート少女	花形みつる	ポプラ社	ヤング	913/ホフ/08
西村玲子の夢物語	西村玲子	東京書籍	閉架一般	F/ニシ/T
武士道シックスティーン	誉田哲也	文藝春秋	ヤング	F/ホン/07
チョコレートレブン 大阪朝鮮高校サッカー部の奇跡	本田久朔	文芸社	ヤング	F/ホン/12
走れ!T校バスケット部	松崎 洋	彩雲出版	ヤング	F/マツ/07